

# 市販の NOD32 のインストールとセットアップ手順

この手順は、お客様が購入された市販の「ESET NOD32 Antivirus」の V14.0 用の手順です。

## **重要**

- ・ NOD32 以外のアンチウイルスソフトがインストールされている場合は、必ずアンインストールしてから NOD32 をインストールしてください。アンインストール手順は、各アンチウイルスソフトのマニュアルを参照してください。
- ・ サーバーなど、ネットワークを自社で構築しているお客様に対しては、必ずお客様のネットワーク管理者と相談の上、インストールを実施してください。
- ・ パソコンや OS の種類、バージョンによって、画面表示が若干異なる場合がありますが、設定内容、設定方法は同じです。

## 1. インストール手順

購入した NOD32 に添付されているインストール手順に従ってインストールを行ってください。

## 2. HDD のウイルスチェック

### **重要**

現在使用している機器にウイルスが潜んでいないか、HDD のウイルスチェックを行ってください。ウイルスチェックは、トップ画面の左側のメニュー「コンピュータの検査」から行うことができます。

NOD32 をインストールした後、HDD のウイルスチェックをせずに、手順 3 のセットアップ手順を実行した場合、機器に潜んでいるウイルスを削除できなくなります。

## 3. セットアップ手順

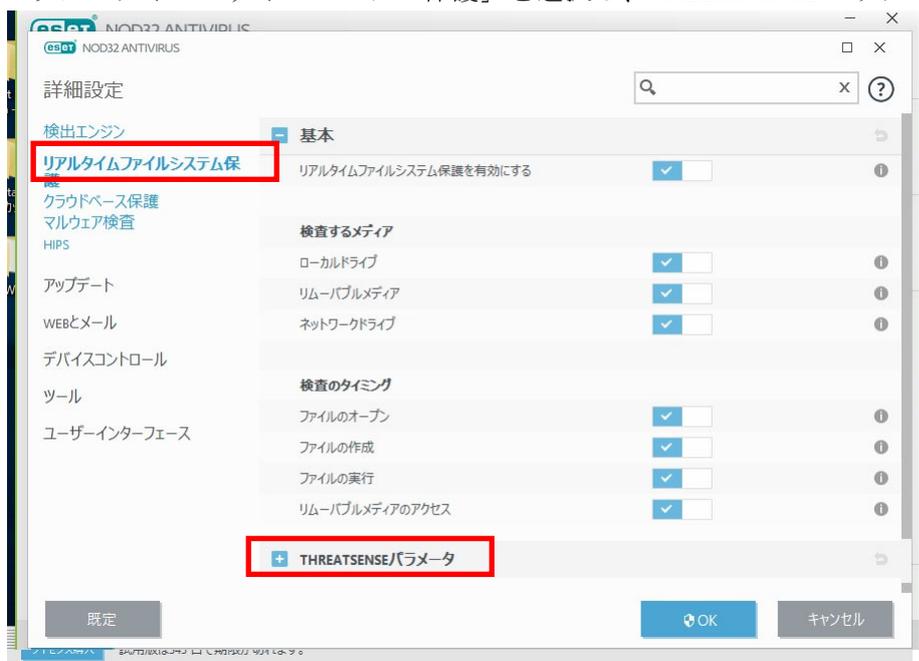
- 1) Windows 画面右下にある「ESET NOD32 antivirus」のアイコンをダブルクリックします。アイコンが隠れている場合は▲のアイコンをクリックすると表示されます。

「ESET NOD32 antivirus」の画面が表示されます。

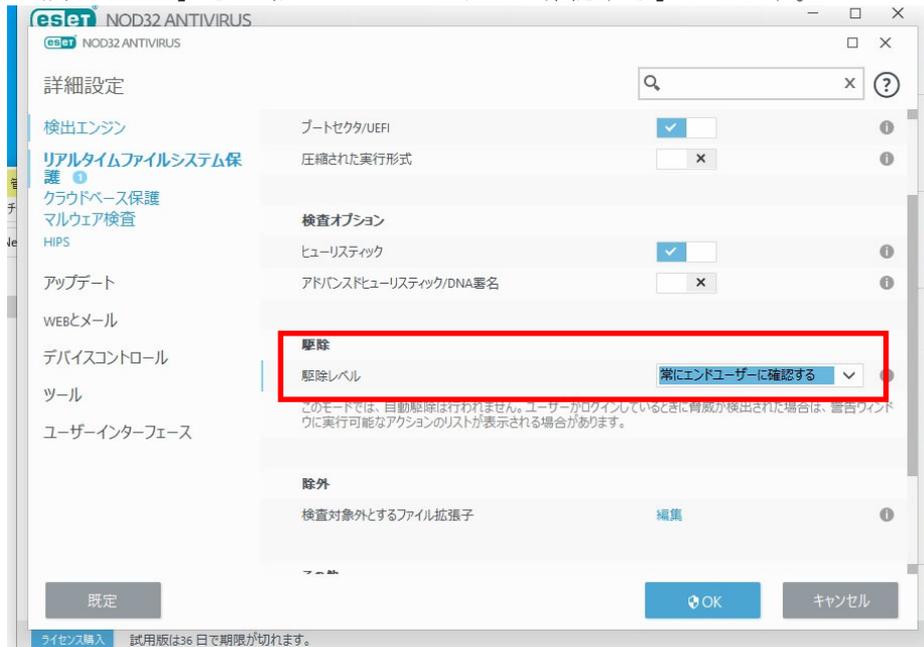
2) 「設定」を選択し、「詳細設定」をクリックします。



3) 「リアルタイムファイルシステム保護」を選択し、「THREATSENSE パラメータ」をクリックします。



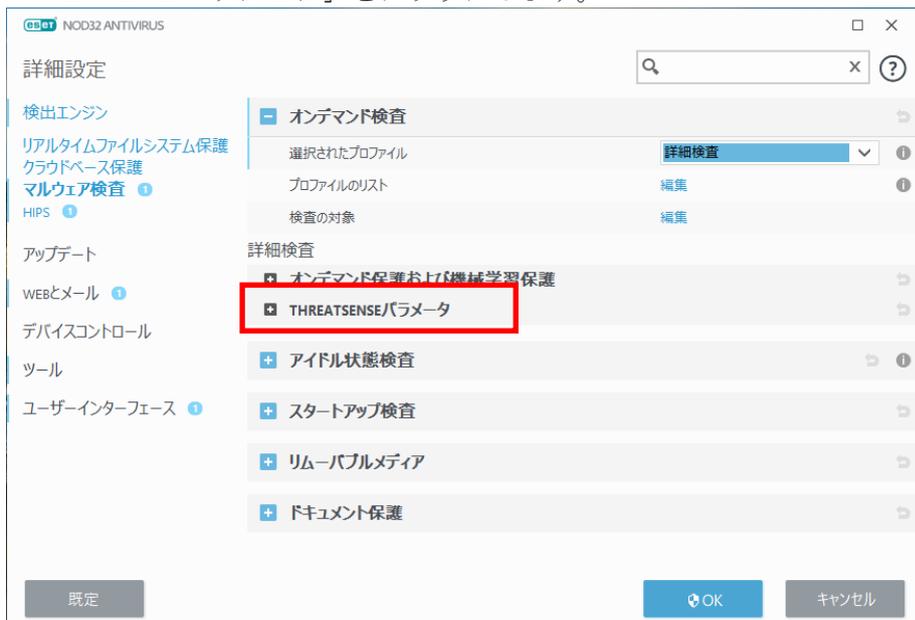
- 4) 「駆除レベル」を「常にエンドユーザーに確認する」にします。



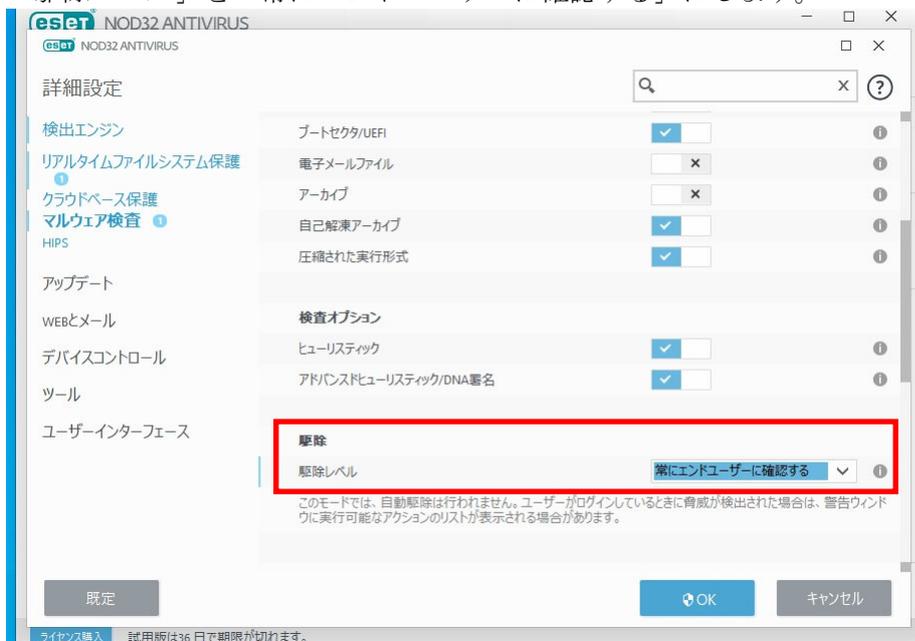
- 5) 「マルウェア検査」を選択し、「オンデマンド検査」の「選択されたプロファイル」で「詳細検査」を選択します。



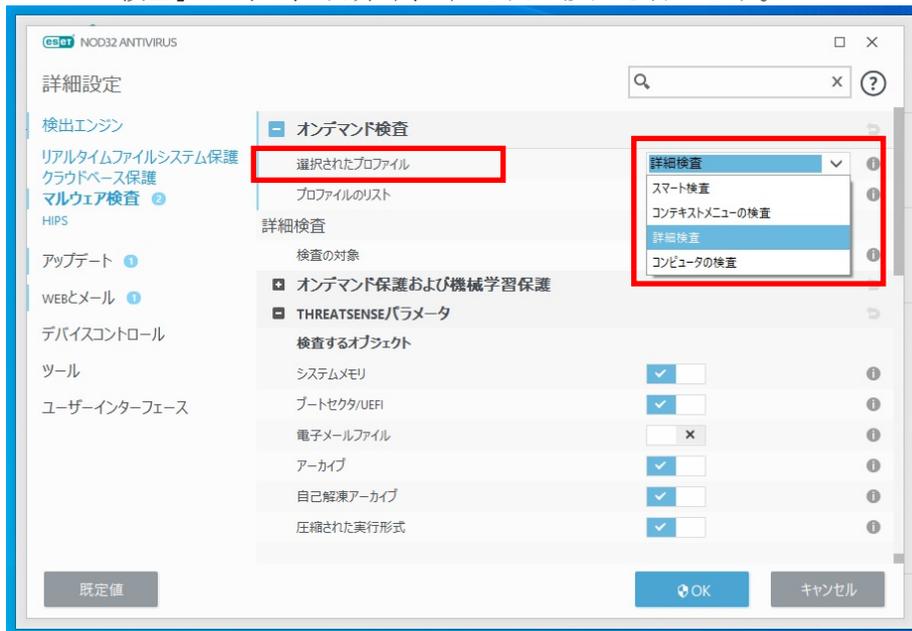
6) 「TREATSENSE パラメータ」をクリックします。



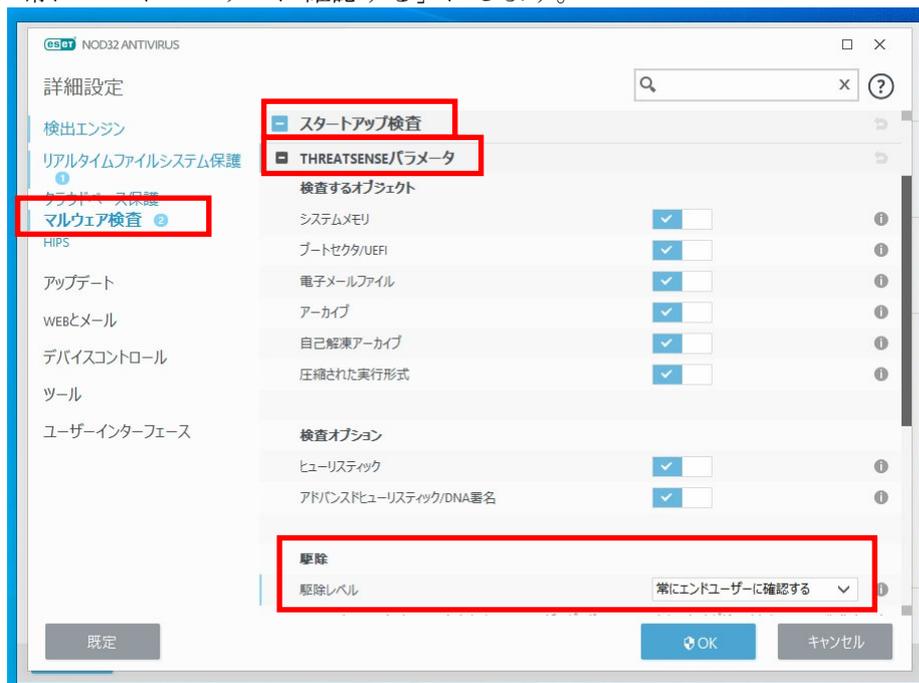
7) 「駆除レベル」を「常にエンドユーザーに確認する」にします。



- 8) 「選択されたプロファイル」の残りの設定である「スマート検査」「コンテキストメニュー検査」「コンピュータの検査」に対し、手順6)、7)と同じ設定を行います。



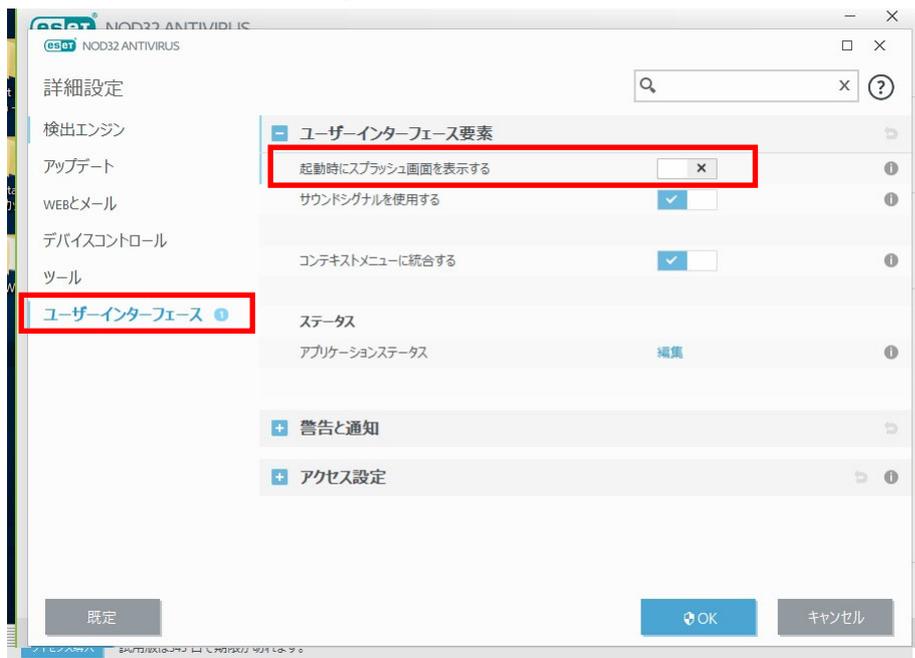
- 9) 「マルウェア検査」の「スタートアップ検査」を選択し、「THEATSENSE パラメータ」の「駆除レベル」を「常にエンドユーザーに確認する」にします。



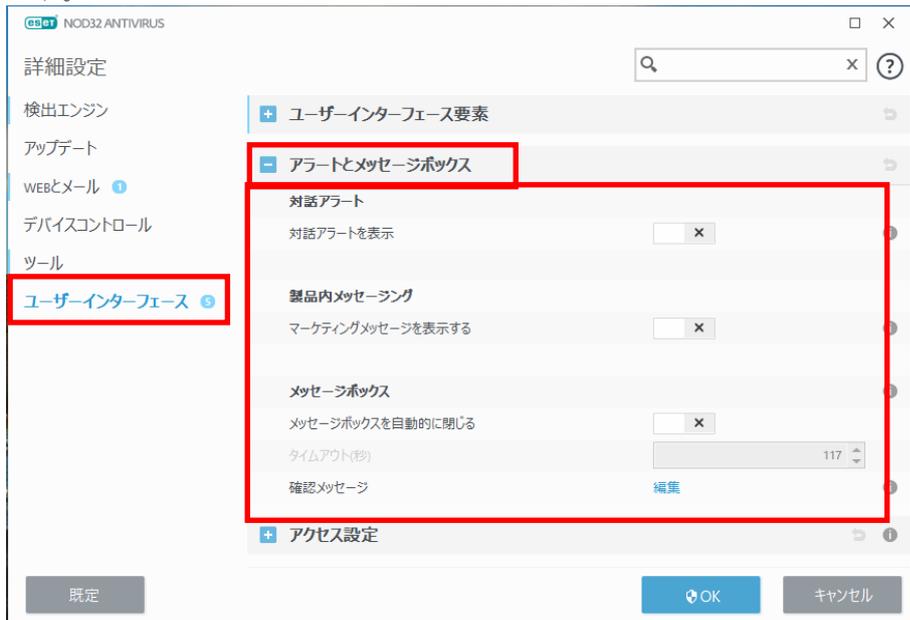
- 10) 「マルウェア検査」の「リムーバブルメディア」を選択し、「リムーバブルメディアの挿入後に行うアクション」を「自動デバイス検査」に設定します。



- 11) 「ユーザーインターフェース」を選択し、「起動時にスプラッシュ画面を表示する」を無効にします。

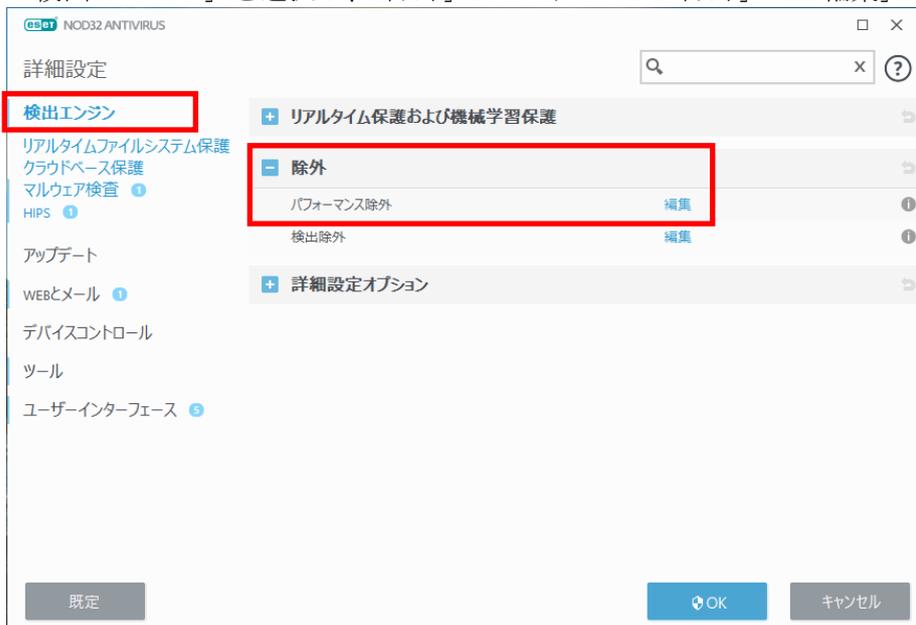


- 12) 「ユーザーインターフェイス」を選択し、「アラートとメッセージボックス」内のすべての項目を無効にします。

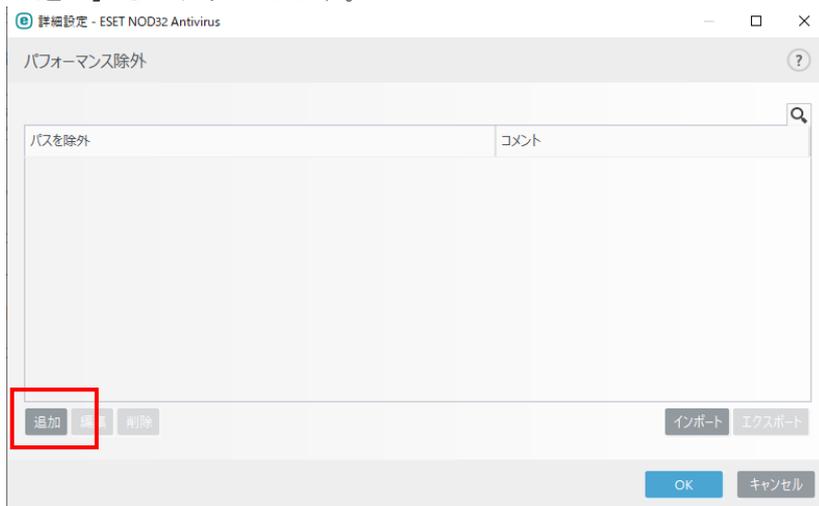


- 13) 本製品に関連するフォルダを除外します。  
除外設定を行わない場合、機器の処理速度が低下する場合があります。  
「C:\Program Files (x86)\Noritsu\koki」というフォルダを例に説明します。

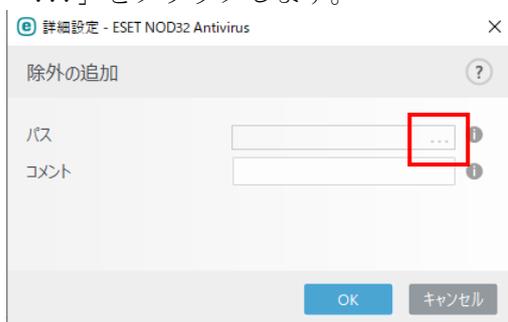
- (1) 「検出エンジン」を選択し、「除外」「パフォーマンス除外」の「編集」をクリックします。



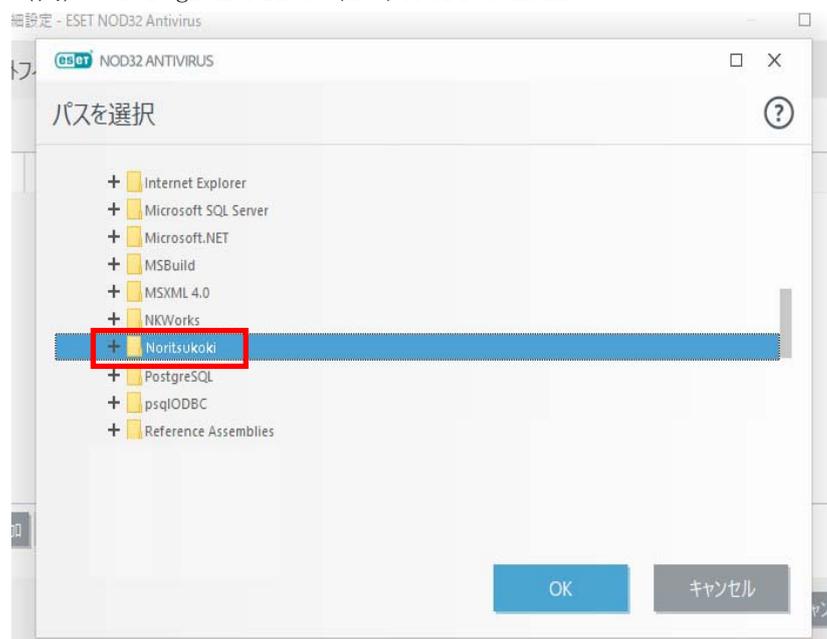
(2) 「追加」をクリックします。



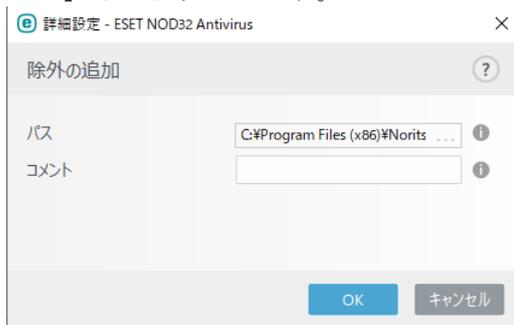
(3) 「...」をクリックします。



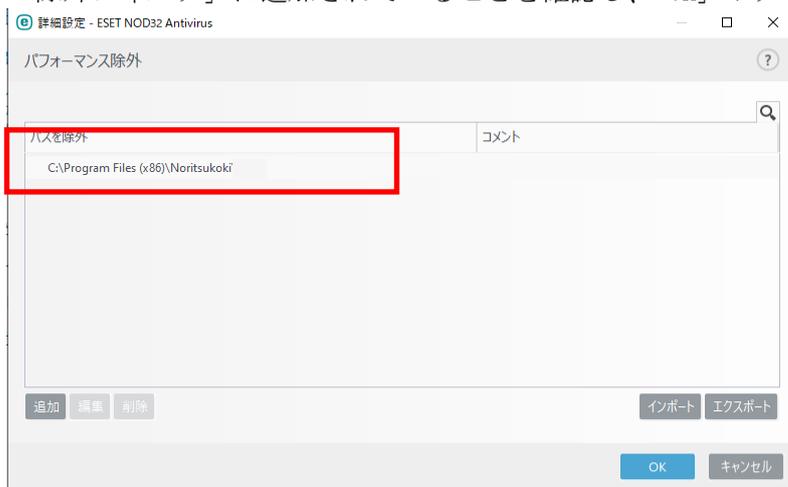
(4) フォルダ選択画面で、その該当のフォルダを選択し、「OK」をクリックします。  
(例) C:¥Program Files (x86)¥Noritsuokoki



(5) 「OK」をクリックします。



(6) 「除外フィルタ」に追加されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

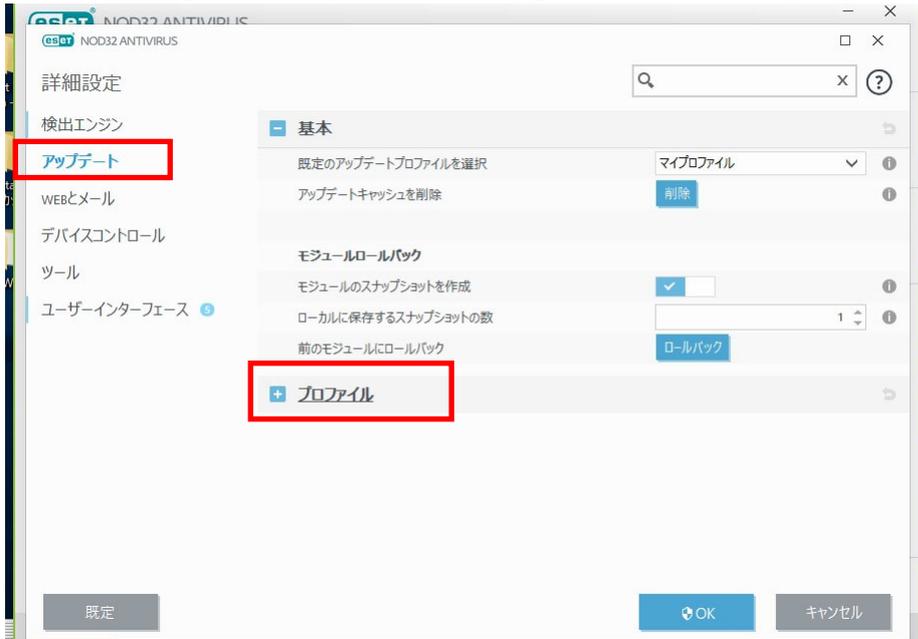


(7) 同様の手順で、下記フォルダを除外フォルダに設定します。

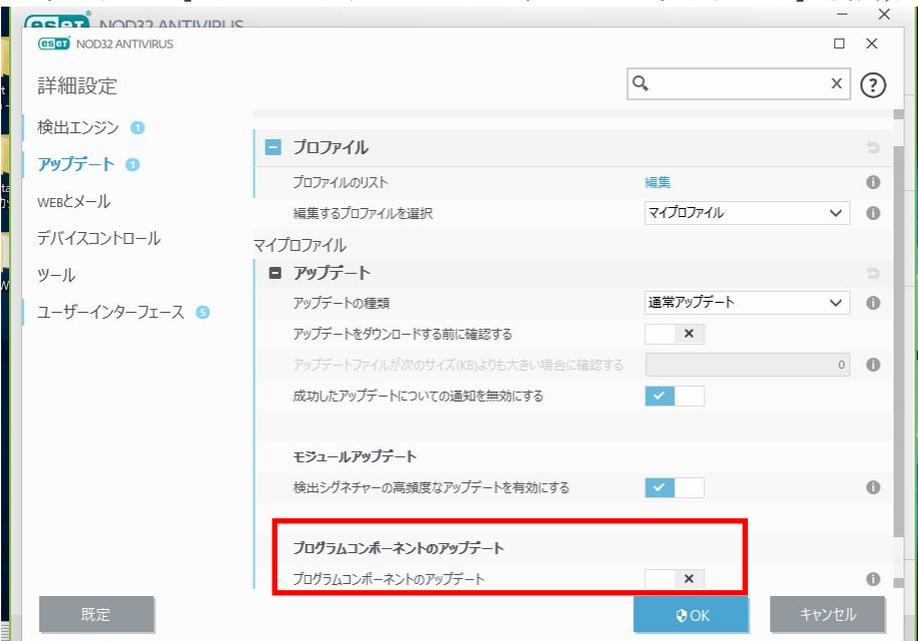
<p><b>重要</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 下記フォルダは、各アプリケーション共通です。アプリケーションによっては、存在しないフォルダもありますので、CあるいはDドライブを確認し、下記フォルダが存在すれば除外フォルダに設定してください。</li><li>・ 使用しているPCのHDD構成によりドライブが異なる場合があります。</li></ul>
---

除外するフォルダ
C:\YAPM_TRANSFER
C:\YCapture
C:\YDocuments and Settings\All Users\Application Data\Noritsukoki
C:\YInstallLogTmp
C:\YNoritsukoki
C:\YProgram Files\Noritsukoki
C:\YProgramData\Noritsukoki
C:\YSyscap
D:\YNoritsukoki
C:\YProgram Files (x86)\Noritsukoki
C:\YProgram Files\PostgreSQL
C:\YProgram Files (x86)\PostgreSQL
C:\YQSS
C:\YSmart Picture System
C:\YProgram Files\Microsoft SQL Server

- 14) 「アップデート」を選択し、「プロファイル」をクリックします。



- 15) 「アップデート」の「プログラムコンポーネントのアップデート」を無効にし、「OK」をクリックします。



16) 「ツール」を選択し、「スケジューラ」をクリックします。



17) 「アップデート：ユーザーログオン後に自動アップデート」のみを有効にします。



18) 以上で設定は終了です。画面右上の「×」をクリックし、NOD32の画面を閉じます。

